

## 編集後記

本号は企画から読者の手にお届けするまでに一年以上かかった。

本特集のための座談会Ⅰは昨年六月二六日に開催され、順調にスタートを切ったが、その後スローペースのように緩行した。一方、文部科学省GPPプログラムである「現代中国学部中国現地研究調査」に参加した学生がその成果を編集した『学生が見た武漢社会』（愛知大学発行）は、昨年一〇月頃から編集を開始したのに本号より早く出版された。時間だけではない。本特集の延長でもある「漢族・少数民族研究の接合—クロスオーバーの視点

からみる漢族と少数民族の社会と文化—」（今年七月一五・一六日）のワークショップを愛知大学で開催した際、何人かの参加者が『学生が見た武漢社会』を読み、「学生が書いた文章は、我われが書いたものより読む価値がある」とコメントした。これを耳にした瞬間、若い学生が「見た」中国と我われが「研究」した中国との間に、今後新たな問題が提起されるだろう、という期待も生じてきた。こうしたいわば学生の行動力や無垢の思考に負けたという自覚を持ちながら、本特集に携わってくださった皆様のご協力に感謝しつつ、本号出版のために全力を尽くした。

また、巻頭言にも述べたが、共同編集者松

### ❖投稿原稿を募ります❖

『中国21』は、新しい発想から現代中国をめぐる諸問題に切り込む、気鋭の論考を広く募集いたします。現代中国に関するテーマであれば、そのジャンルは問いません。むしろ、既存の学問のジャンルを打ち破るような斬新な発想を期待いたします。募集の要領は左記の通りです。

①現代中国に関する論考（未発表のものに限る）。②四〇〇字詰原稿用紙換算。論説、研究ノート、報告・ルポ、資料等③五〇枚程度、書評④二〇枚程度、エッセイ⑤一〇枚程度。③原則としてワープロで作成した縦書き原稿二部及びフロッピーディスクを提出。

❖表紙画募集❖『中国21』の表紙デザインに用いる絵画・写真を募集いたします。絵画については作品のカラー写真を、写真についてはプリントを御送付下さい。

送付先  
〒470-0296 愛知県西加茂郡三好町黒笹三七〇  
愛知大学現代中国学会  
☎〇五六一（三六一）三一四  
FAX（〇五六一）三六一五五二六

投稿規程の詳細は現代中国学会室までお問い合わせ下さい。採否は、編集委員会の検討を経て決定し、採用にあたっては規定により薄謝を呈呈します。なお、応募された原稿及びカラー写真等は、採否に関わらず返却いたしません。

尾肇子氏をはじめとして、座談会参加者や執筆者の多くは他大学で関連研究を行う者である。このような大学を越えた連携関係・協力体制がなければ、本号は成立しえなかっただろう。改めて本特集の編集に精力的に携わってくださったすべての方々に、感謝の意を表したい。（高明潔）

愛知大学現代中国学部 <http://achi-u.ac.jp/vol25/chin.htm>

### 中国21 編集委員会

（編集長）加々美光行 木島史雄 黄英哲  
高明潔 高橋五郎 藤森猛 古澤賢治  
馬場毅 劉柏林（五十音順）

## 中国21 Vol.25

二〇〇六年九月二十五日発行

編集

愛知大学現代中国学会

愛知県西加茂郡三好町黒笹三七〇

電話（〇五六一）三六一三一四

発行人

今井

理之

発行

風媒社

印刷

制作

（株）あむ

名古屋市中区千代田三一〇八六

電話（〇五二）三三二一〇八六